

研究No. (記載不要)	22 - 学 - 2
-----------------	------------

平成 22 年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	外国語教育のあり方研究と外国語履修のためのブックレット作成				
配分を受けた特別研究費	学長 特別研究費			900 千円	
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究者
	文化政策学部	国際文化学科	教授	馬場 孝	他 10 名
発表の方法	1 紀要 名称:		号数	第 号 (頁~ 頁) (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:『SUAC 外国語履修のためのブックレット』発行、配布		発表日	平成 23年 4月 1 日	

- 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。
- 配分を受けた翌年度の 3 月末までに提出

◆ 得られた成果

本ブックレットの作成の目的は、本学における外国語教育の在り方を担当教員の間で検討し、同時に、学生の外国語履修・学習のモチベーションを向上させる点にあった。平成23年度は国際文化学科在学生全員ならびに全学科新入生全員に配布した。

その成果の一端を、各科目の「履修者数」ならびに「単位取得者数」の前年度比の増減という「定量的側面」ならびに、担当教員による1年間の教育実践の感触という「定性的側面」の両面から概観し、得られた成果についての検証としたい。

<定量的側面>

それぞれの外国語科目における履修者数、単位取得者数の増加は、別添の資料のとおりである。韓国語は全般的に「微増」にとどまっているが、それ以外の中国語、ポルトガル語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、インドネシア語における増加数は顕著である。前期科目の履修者数の増加は報告概要でも触れたが、後期科目についていくつか例をあげれば以下のとおりである。

	履修者数	単位取得者数
中国語コミュニケーションⅢ	43 → 68	37 → 64
韓国語コミュニケーションⅢ	25 → 35	21 → 31
ポルトガル語コミュニケーションⅢ	13 → 19	13 → 19
ドイツ語コミュニケーションⅢ	7 → 11	4 → 7
フランス語コミュニケーションⅢ	26 → 43	23 → 37
イタリア語Ⅲ	8 → 28	8 → 27
インドネシア語Ⅲ	0 → 5	0 → 5

また別添の表をみれば明らかなように、履修者数の増加にもかかわらず、単位修得者の割合も落ちておらず、学習意欲の継続という面でもよい数字が示されている。

<定性的側面>

ブックレット配布の効果を直接検証するためには学生からのアンケート等が必要であるが、それは行っていない。授業担当教員からのコメントを以下に整理することで、成果の質的側面についての検証に代えたい。

外国語ブックレット授業担当教員からの感想・コメント(2012.02.20)

中国語(孫江)

・中国語コミュニケーションについて

履修生のほとんどがデザイン学部の学生です。中には将来中国で仕事をしたい人もいます。非常に楽しい授業でした。

・中国語上級について

これまでの履修生に比べ、レベルも学習意欲も低いです。真面目に勉強したのは二人だけです。そのうちの一人は文化政策学科に所属しています。

・中国語応用

人数が少ないですが、そのうちの二人が担当教員と中国語で交流できるまでに上達しました。

中国語（兪嶸）

国際文化学科1年生は配布されたブックレットの内容に興味があるように見受けられ、中国語コミュニケーションの履修人数も微増しました。2年生、3年生について、履修人数は昨年度とさほど変わりませんが、出された宿題と授業での発表に昨年度に増して熱心に取り組んでいました。ブックレット効果かどうか判断できませんが、国際文化学科4年生の受講態度はとても真剣で、印象的でした。ブックレットは学生が外国語に興味を持つ一つのきっかけになるため、配布は有意義だと考えます。

韓国語（林在圭）

新1年生は学習意欲が高く、とくに韓国に関心・興味をもつ人が増えている。韓国語履修者が倍増しているが、それがただちにブックレットの効果であるかはよくわからないが、よく読んで履修しているようにみえる。また、入学する前から関心をもっていた人が多く、歌(K-POP)に大きな関心をみせている。全体的に学習態度も真剣に望み、良好である。2、3年生についてはゼミを念頭に韓国語上級を履修している。人数的にはひと桁台であるが、来年度になって、現1年生の上級履修の増加になるかはわからない。

一方、交換留学が恒常的に増えており、国際文化学科学生から全学の学生へと拡がり、期間も半年から1年間を希望する人が増えている。こうしたことを考えると、初級・上級・留学といった一連の学習コースが用意されていることもプラスに働いているように思われる。そして、その最初のとっかかりを与えてくれるブックレットは重要な意味を有するものであると思う。

インドネシア語（深尾康夫：談）

これまでにない学生数だった。もともと履修者は少ないが、学年が2年生だけではなくいろいろ混じることで、上級生の学習の姿を下級生が見られるというのは励みとなり、クラスの層が厚くなってよい。ブックレット効果はあると思う。

ポルトガル語（マルチンス・ホザンジェラ：談）

1年次開講のポルトガルコミュニケーションの履修者数は例年どおりだったが、ブックレットを皆よく参考にしていただけた。はじめて3年次の応用クラスを担当した。履修者は少なかったが、4年生が単位のためではなく3年次に続いて履修していたのが印象的。まったくの自発的学習はすばらしい。

ドイツ語（中尾健二）

今年度はたしかに開講時点での受講登録者数が過去最高で、ドイツ語Iが27名、ドイツ語IIが22名でした。この中には登録したもののほとんど授業には出てこなかった学生が4名ほど（とくにデザイン学部の2年生が3名含まれています）おりましたので、事実上は20名前後でスタート、それにしても過去最高にはちがいがありません。原因はよくわかりませんが、ブックレットの効果かもしれません。（それを読んだかどうかは確認しておりません。）

そのかわり途中で脱落する学生も多く、最終的に後期期末試験を受験した学生はドイツ語III9名、ドイツ語IV8名でした。それでも経年比較では一番多かったらと思います。

学生の分布は例年の傾向とさほど変わらず、文化政策学部の1年生、2年生、4年生です。4年生は例年同様比較的良くできる学生が多いです。単位取得とは関係なく、純粹な興味、向学心からだからでしょう。

新しい外国語の学習はかなりハードなので、安易な気持ちで受講するのではなく、やはりとる以上は覚悟を決めて受講してほしいと思います。教科書・辞書の元も取れませんし。

イタリア語（土肥秀行）

「イタリア語」は、前期のI,IIと後期のIII,IVを通じて、前年度同様30余名の受講があった。この数は、担当教員が一名の場合、限界である。語学パンフレットの影響か、各人のモチベーションが高く、毎回のミニテストの結果平均も高めであった。また途中脱落者がおらず、一年を通して受講する学生がほぼ全員であることも語学学習意欲の高まりの結果であろう。2011年10月の「イタリア語検定試験」に7名がチャレンジし、2名が5級を取得した。また同時開催の「イタリア文化検定」では受験した5人全員が初級を取得した。2011年12月に京都外国語大学で開かれた「全日本学生イタリア語弁論大会」には2名が出場し、うち一人が5位に相当する在日スイス大使館賞を受賞した。2012年3月の「イタリア語検定試験」には11名が受験することになっている。こうした学外での学習機会も積極的に活用する姿勢が目立つ。

フランス語（石川清子）

ブックレットについては新一年生は内容をよく読み、それを踏まえて外国語を履修したように見える。複数の外国語への興味をさそった模様。

フランス語についてはブックレット効果かは分からないが履修学生数は増えた。公立化に伴い学生の質の変化もみられる。全体に質が向上した印象を受ける。文化政策学部の他2学科1年生が微増した。また今回ブックレット配布した国際文化学科2、3年生の履修が増え、熱心に授業に臨んでいる。また、教務室の登録には入らないが、毎年4年生と大学院生の応用クラスの聴講参加、大学院生のコミュニケーションクラスの聴講参加がある。

現1年生のフランス語履修の充実度は、来年度の上級を履修するかを見ないと判断できない。

さらに加えれば、外国語をもっと能率的、かつ实际的に学習するには現地へ行く手段(留学や研修)をこちらが整える必要がある。留学先の充実や検定受験、スピーチコンテストへの奨励など、外からの刺激と大学のサポートがあって本校の外国語学習は充実するのであって、ブックレットはほんのわずかなガイド役にすぎない。しかし、大学側ができる第一歩としてブックレット配布は意義大だった。

以上。

	2010履修	2010単位取得	2011履修	2011単位取得
中国語コミュニケーション I	44	41	81	76
中国語コミュニケーション II	42	36	88	77
中国語コミュニケーション III	43	37	68	64
中国語コミュニケーション IV	38	34	65	61
韓国語コミュニケーション I	29	26	35	35
韓国語コミュニケーション II	29	26	35	35
韓国語コミュニケーション III	25	21	35	32
韓国語コミュニケーション IV	26	22	35	31
ポルトガル語コミュニケーション	20	19	29	29
ポルトガル語コミュニケーション I	20	19	28	28
ポルトガル語コミュニケーション I	13	13	19	19
ポルトガル語コミュニケーション I	13	13	18	18
ドイツ語コミュニケーション I	10	7	22	13
ドイツ語コミュニケーション II	9	7	20	12
ドイツ語コミュニケーション III	7	4	11	7
ドイツ語コミュニケーション IV	7	4	11	7
フランス語コミュニケーション I	29	27	51	45
フランス語コミュニケーション II	29	27	48	46
フランス語コミュニケーション III	24	22	39	32
フランス語コミュニケーション IV	26	23	43	37
イタリア語 I	8	8	28	27
イタリア語 II	8	8	28	27
イタリア語 III	8	7	26	24
イタリア語 IV	8	7	26	24
インドネシア語 I	1	0	5	5
インドネシア語 II	1	0	5	5
インドネシア語 III	0	0	5	5
インドネシア語 IV	0	0	5	5

は前期科目

旧カリ(3月卒業生)は入っていない